

おっしゅい

第49号

2020(令和2)年
4月発行

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペース

放送大学福岡学習センター

〒816-0811 春日市春日公園6-1
(九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)

TEL:092-585-3033

ホームページ:

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukuoka/>

放送大学北九州サテライトスペース

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3
(コムシティ3階)

TEL:093-645-3201



ホームページ



Twitter

「所長就任にあたって」

本年4月より所長に就任しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任の菊川律子先生は2014年10月に就任されて以来、広報強化によって本センターの存在とその価値を広く知らしめると同時に、多彩な学習機会の企画、きめ細やかな学習支援などに大きく尽力されてこられました。この場をお借りしてこころからお礼を申し上げます。今後もこの流れを踏襲しつつ、私なりのチャレンジを進めたいと思います。皆さまからも、さらに効果的に楽しく学習できそうなアイデアがあればお申し付けください。

さて、私は2018年3月末に九州大学大学院芸術工学研究院を定年退職しました。私の専門は「生理人類学」です。ヒトを生物学的に研究する分野です。芸術工学部は高度なデザイン教育を目指しているところですが、人を理解してはじめてよいデザインを提供できるという考えから、私たちの分野が存在しています。デザインとは、いわゆる“色やかたち”だけでなく、しかるべき根拠と計画にもとづいた“モノ（かたちの有無を問わず）や事（イベントやしぐみ）”を提供し人類の福祉に貢献するものです。皆さんがどんな学びを選択し、

どのように役立てられるかもデザインの範疇です。

ヒトは「ホモ・サピエンス（賢い人）」の学名をもっています。その名が示すように、人はそもそも学習することを特徴としています。ジョセフ・ヘンリックという人類進化生物学者は、「人類の成功は、生まれつきの知能にあるのではない」といっています。互いに他者から学び、それを文化として蓄積し、受け継いだ知識や技術に磨きをかけて次世代へ伝えてきたことが成功要因というのです。「他者から学ぶ能力それ自体が、自然選択の産物」とまでいいきっています。つまり、学ぶ意欲を生じさせる脳を持つ人が選択されてきたということです。そうすると、人はもう学びたいという気持ちは避けられず、あとは学ぶ機会をいかにつくり出すかが重要になってきます。

当センターでは、皆さんのこの熱い思いにいかに応えていくか、そのための様々なデザインを考えていくことでご期待に沿えるよう努力して参ります。



福岡学習センター所長 安河内 朗

目次

所長就任にあたって.....	1	退任の先生からのメッセージ.....	6
所長退任にあたって.....	2	2019年度第2学期 ご卒業おめでとうございます.....	8
客員教員のご紹介.....	3	事務局からのお知らせ.....	11
客員教員交代のお知らせ.....	4	4月～6月のスケジュール.....	12

「所長退任にあたって」

ご挨拶～感謝

5年半前、所長としてこちらに参りましたのは、福岡学習センターが博多駅近くからここ九大筑紫キャンパスに移転して半年後、北九州サテライトスペースがJR黒崎駅の駅ビルに移転した直後でした。その折りの「おっしょい」の挨拶に「社会や時代の動向、学生の皆様の状況を勉強しながら取り組んでまいる所存です。」「新たな場を生かしながら、学習環境づくりに努力するとともに、相談や広報、活動支援等ソフトの面においても工夫を重ねてまいりたいと考えます。」と記しています。今、お約束が果たせただろうかと振り返っています。特に福岡学習センターは福岡市内を外れたことから、学生さんの賑わいが減るのではないかということがまず心配でした。お陰様で、いろいろな関係者や客員の先生方、職員の尽力でそんなことはなく、北九州サテライトスペースも含め、現在2600名を超える学生さんが学んでいらっしゃるのには有難いことです。

当初の方向性は間違いではなかったと思いますが、経験を重ねるごとに深く実感していったのは次の2点です。それは、名誉学生さんや卒業される学生の皆様の感想にも表現されているように、若者はもちろん、高齢者も含め、本

気になった大人の学習能力は高いということ、放送大学はこれからの日本の「人生百年社会」として、「なくてはならない大学」であるということです。

通信制ですので、顔を知らない学生さんのほうが大半なのですが、学位記授与式終了後の懇親会で聞かせていただいた経験談、卒業論文に真摯に取り組まれた方々、センターに毎日勉強に来ていただいた方々、同窓会やサークル活動に熱心に取り組んでいただいた方々、病気等で学校に行けず放送大学を選ばれ無事卒業され道を切り拓いていかれた若い方々等々、いろいろな方のお顔が浮かびます。

もう少しここをという面もあったかと思いますが、また、新型コロナウイルス対応の渦中ではありますが、安河内朗所長に無事バトンを渡すことができ、少し安堵しております。多くの方に心からのお礼を申し上げ、放送大学のますますのご発展を祈念して、挨拶とさせていただきます。



福岡学習センター前所長 菊川 律子

新型コロナウイルスの影響による中止・延期等について(4月16日現在)

今般の新型コロナウイルスの影響により、放送大学でも大幅なスケジュール変更を余儀なくされております。現在のところ決定している情報は以下のとおりです。今後も変更が生じましたら、その都度、福岡学習センターホームページ「新型コロナ対応情報」にてお知らせします。

【行事関係】

- ・4月 5日(日)「入学者の集い」は中止。
- ・5月 2日(土)「新入生のための学習応援交流会」は延期。
- ・5月30日(土)「放送大学福岡学習センター開設30周年記念式典等」は延期。

※各種行事の開催時期は、改めてお知らせしますので、福岡学習センターホームページをご確認ください。

【面接授業開始】

- ・5月 2日(土)以前の面接授業は、全国一律閉講(中止)。
- ・4月18日(土)の面接授業空席発表、4月24日(金)の追加登録受付は延期。

※その他詳細は福岡学習センターホームページをご確認ください。

【学習センター利用関係】

- ・緊急事態宣言の期間(4月8日(水)～5月6日(水))、学習センター・サテライトスペースは入館できません。※お電話でのご相談は11時～16時(閉所日を除く)にて承ります。

客員教員のご紹介

現在、福岡学習センター・北九州サテライトスペースには12名の客員教授の先生がいらっしゃいます。学習相談を受け付けておりますので、ご希望の方は事務室までお申し出ください。



藤村 直美 先生
(九州大学名誉教授)

専 門 情報工学
出勤日 第2・4土曜 午後



太田 一昭 先生
(九州大学名誉教授)

専 門 英文学
出勤日 第2・4木曜 午後



土井 政和 先生
(九州大学名誉教授)

専 門 刑事政策
出勤日 第2・4水曜 午前



坂上 康俊 先生
(九州大学大学院教授)

専 門 奈良・平安時代史
出勤日 第2・4金曜 午後



山口 裕幸 先生
(九州大学大学院教授)

専 門 社会心理学、
産業・組織心理学
出勤日 第2・4火曜 午前



永田 晃也 先生
(九州大学大学院教授)

専 門 科学技術政策、技術経営
出勤日 第1・3金曜 午後



佐藤 匡央 先生
(九州大学大学院教授)

専 門 栄養化学
出勤日 第2・4土曜 午前



谷本 潤 先生
(九州大学大学院教授)

専 門 人間・環境-
社会システム学
出勤日 第2・4土曜 午前



花田 利郎 先生
(西南学院大学教授)

専 門 臨床心理学
出勤日 第1・3金曜 午前



橋口 暢子 先生
(九州大学大学院教授)

専 門 基礎看護学、人間工学
出勤日 第3土曜 午前



池田 浩 先生
(九州大学大学院准教授)

専 門 社会心理学、
産業・組織心理学
出勤日 第1・3木曜 午後



税田 慶昭 先生(北九州)
(北九州市立大学准教授)

専 門 発達心理学
出勤日 第2土曜 午前
第4土曜 午後

客員教員交代のお知らせ

福岡学習センターでは、客員教員としてお勤めいただいた針塚進先生、高山倫明先生、宮本敬久先生、中島英治先生、菊池悌一郎先生をお送りし、この4月からは新たに坂上康俊先生、佐藤匡央先生、谷本潤先生、花田利郎先生、税田慶昭先生をお迎えします。お勤めいただいた5名の先生方には、今後も面接授業などでお世話になるものと思います。これまでのご指導に心から感謝申し上げますとともに、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

～新任客員教員のプロフィール～

坂上 康俊（さかうえ やすとし） 九州大学大学院人文科学研究院教授

専門分野	奈良・平安時代史
プロフィール	主として宮崎県で育つ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。現在、九州大学大学院人文科学研究院教授として、奈良・平安時代史の研究と教育に当たっています。
趣 味	論文の読み書きと遺跡巡り。（ただし、仕事ということもできます。）
学生へのメッセージ	専門は奈良・平安時代史で、特に日唐律令の比較研究と東アジア交流史、平安時代の支配制度史を扱っております。『平城京の時代』（岩波新書）『律令国家の転換と「日本」』（講談社学術文庫）『摂関政治と地方社会』（吉川弘文館）は、奈良・平安時代を時代順に扱っておりますので、ご一読いただければ、どんなことを考えてきたかがお分かりになれると思います。初めて担当致しますので、実はあまり様子が分かっていません。ともかく、出会えた学生さんと、研究のことをああでもないこうでもないと一緒に考えていきたいと思っています。

佐藤 匡央（さとう まさお） 九州大学大学院農学研究院教授

専門分野	栄養化学
プロフィール	千葉県出身、九州大学農学部食糧化学工学科卒業、九州大学大学院農学研究科食糧化学工学専攻博士後期課程修了・博士（農学）取得 米国ルイジアナ州立大学シュリーブポート校医学部生理学科博士研究員 現在、九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門栄養化学分野教授
趣 味	鉄道写真、風景印収集
学生へのメッセージ	私は栄養化学を30年以上学んできました。ヒトは何を食べなくてはならないかは既に決まっています。栄養学の業績であるその科学的根拠により人類は病と戦い、寿命を延ばしてきました。それでは、まだ研究の余地はあるのだろうか？ いまだに食事を含む生活習慣病（最近の用語では、非感染性疾患という）が原因の病は後を絶たない。原因が存在するなら、量があって、量があるなら比較できるはずである。栄養学が科学的であるには、化学の知識と比較できる量の取り扱いが重要となります。ある食品がある病気に効くとはどのようなことか？ ある食生活がある病気の原因となるとはどのようなことを、一緒に考えましょう。

客員教員等によるステップアップセミナーについて

福岡学習センターでは毎年客員教員等によるステップアップセミナーを開催しています。

セミナーは原則2時間で、後半には質問やディスカッションも行います。

開催日時および内容等詳細は福岡学習センターホームページ、7月発行の機関誌でお知らせします。

谷本 潤 (たにもと じゅん)

九州大学大学院総合理工学研究院教授

専門分野	社会物理学、人間－環境－社会システム学、建築物理学、都市気候学、応用数理学。
プロフィール	早稲田大学理工学研究科博士課程中退、工博(早稲田大学)、東京都立大学・助手、九州大学大学院・専任講師、助教授を経て現職(九州大学大学院総合理工学研究院・教授)。米国・国立再生エネルギー研究所、豪州・ニューサウスウェールズ大学、オランダ・アイントホーフェン工科大学、ドイツ・マックス-プランク研究所/進化生物学研究所 各客員教授歴任。
趣味	作家、水彩画家(これは趣味ではありません…)
学生へのメッセージ	熱・流体工学を基礎にする環境学の研究をしていましたが、15年ほど前でしょうか、よろず環境問題は、数理科学で云うジレンマの問題に帰着できることに思い至りました。ならば、区々たる物理システムを分析的アプローチにより究明する従来の理工学研究だけでは社会に有意な方策を提示できないのではないか、環境とそれを操作する人間主体、そして人間がマスとなった社会システムを相互浸透的に一体のモデルとして眺める視座が必要なのではないかと考えるようになりました。爾来、数学と統計物理学を道具立てに人間－環境－社会システムのモデル化に取り組んでいます。

花田 利郎 (はなだ としろう)

西南学院大学人間科学部教授

専門分野	臨床心理学
プロフィール	福岡県出身。九州大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学。現在は西南学院大学人間科学部心理学科の教員をしています。
趣味	趣味と言えるかどうか分かりませんが、玩具や料理など、お店で提供されている「自分でも作れそう」と思ったものを、自分なりに少しアレンジを加えて作ってみることは結構好きです。
学生へのメッセージ	私は現在大学および大学院の教員をしており、心理療法や心理検査に関する科目を担当しています。障害のある人に対する療育活動を出発点とし、病院心理職、スクールカウンセラー、学生相談室カウンセラーとして臨床心理学的援助活動も行ってきました。 放送大学では心理学基礎実験や心理検査法基礎実習の面接授業を担当してきました。皆さんが持つ素朴な興味・関心や心理学の学びを続けていく上での工夫等について一緒に考えることができればと思っています。

税田 慶昭 (さいた やすあき)

北九州市立大学文学部准教授

専門分野	発達心理学
プロフィール	福岡県出身、九州大学大学院人間環境学府行動システム専攻博士後期課程単位修得満期退学。臨床心理士、公認心理師。現在、北九州市立大学文学部人間環境学科・准教授。
趣味	大学生のころから茶道を続けています。
学生へのメッセージ	私の専門は発達心理学となりますが、特に赤ちゃんのコミュニケーション発達や発達における障害について研究してきました。ただ、学生のころから子育て支援や障害をもつ方への支援などの実践に携わることが学び続けることにつながったと感じています。学びと実践を結び付けながら、大学での学びが自分自身や周囲との関わり、日々の生活への新たな気づきになればと思っています。

退任の先生からのメッセージ

針塚 進先生よりメッセージ

ご挨拶

令和2年3月末で客員教員の任期を終えることになりました。この5年の間、臨床心理学の担当をさせていただきました。その間5名の方の卒業論文指導をさせていただきました。育児をしつつご自身も保育士として働いている方、特別支援学級の先生、施設で障害を持っている方の支援を行っている方、他大学を中退や卒業したが放送大学で卒論を書き進学するという方などでした。皆さん立派な卒論を仕上げられました。そして、他大学の大学院臨床心理学コースに進学され臨床心理士の資格を取られ心理士として活躍している方もおります。

本学には多様な方々が学生として学んでおられますが、そのお一人一人は学ぶ目的や学び方に違いがあり、それぞれが様々な困難な状況をアレンジして卒業まで頑張られる姿に感服しておりました。学びへの姿勢を教えていただきました。

最後になりましたが、学生の皆さんそして福岡学習センターの菊川所長はじめ職員の皆さまに大変お世話になりました。御礼を申し上げます。

(筑紫女学園大学特任教授・九州大学名誉教授)
針塚 進



高山 倫明先生よりメッセージ

最近、やや固めの文脈の中で「真逆(まぎやく)」に出会い、この言葉が市民権を得ていることを実感しました(「むしろ無知とは真逆の静かな諦念によって、…」平野啓一郎『マチネの終わりに』2016年)。『広辞苑』では2018年の第七版に初めて立項された比較的新しい言葉で、「真逆」の二文字は古くは「まさか」に宛てられるものでした(「『町子、お前が喋りはせんだろうな』『真逆』町子は、寂しく笑った。』獅子文六『沙羅乙女』1939年)。これを「まぎやく」と読んだら文意を掴み損ねてしまいますね。言葉は日々変化し、その小さな積み重ねがやがて言語史のうねりとなります。私は日本語のうねりの、ほんの一端を細々と研究してきましたが、未知の世界はまだ茫漠と広がっています。未知があるかぎり、探究の道は続きます。

2015年度から客員教員に加えていただき、この年度末で5年の任期を終えます。それまで放送大学とはご縁がありましたが、明確な意志と目標をもって前向きに探究する学生さんと一緒に過ごしたこの5年間は、私にとっては大変貴重な時間でした。新型コロナウイルス感染症の影響で学位記授与式も中止となり、「まさか」の幕切れとなりましたが、スタッフのみなさま、学生のみなさまに、この場を借りて心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

(九州大学大学院人文科学研究院教授)
高山 倫明



宮本 敬久先生よりメッセージ

退任の挨拶

2020年3月末で5年間の客員教員としての任期を終えることになりました。放送大学では着任する以前にも数回、面接授業をさせていただいておりましたが、客員教員として学習相談を受けたり、講義を行う中で、受講される皆さんが講義に対して真摯に取り組まれる態度に感銘を受け、実務に基づいた質問も沢山いただき、私自身も勉強になりました。この間、私の勤務先の九大農学部は、箱崎から伊都キャンパスへと移転したことから放送大学の勤務時間や通勤時間も大きく変化しましたが、放送大学での時間は有意義なものでした。まだしばらくは九州大学に勤務しますので、また、非常勤講師として皆様にお会いする機会を楽しみにしています。人生100年の時代と言いますが、「新型コロナウイルス」のような厄災も突然発生します。様々な状況に対応できるように私自身も勉強を続けたいと思います。皆様の学習の進展を祈念しています。ありがとうございました。

(九州大学大学院農学研究科教授)
宮本 敬久



中島 英治先生よりメッセージ

退任の挨拶

こんにちは。ここ放送大学、福岡センターで客員教授を4年間、務めさせて頂きました。菊川センター長に勧められて客員教授を務めることになりましたが、4年間、非常に多くの経験をさせて頂きました。特に、放送大学の面接講義がすごくきつかったですね。何がきつかったかと申しますと、何を講義して良いのか、ということです。私の専門は工学の材料科学です。平たく言えば、金属材料学で、特に鉄鋼やアルミニウムなどの構造材料として使われる金属を専門にしています。この一文章ですでに、わからん、と思われることが多いと思います。この様な専門の私が面接講義、一日4コマを2日。講義の内容は非常に苦労しました。そこで、あみ出したやり方が見学、演習です。かけ声「おっしょい」と唱えて、見学、演習に取り組みます。

我々工学系は実験を行います。実験器具を使います。これを見ていただく。材料は人間が作ります。その材料に触って頂く。など、など、考えて2日間8コマの講義の粗筋を作ります。そして実践！

講義の内容を理解していただけただか、非常に不安ですが、最後のレポートを読ませていただき、いつも安心いたします。講義を聴講された方々が非常にまじめに勉強されていることがよくわかります。これを感じて「おっしょい」です。

大学は教員のためにある組織ではありません。大学は学生がいるからこそ成り立つ組織です。学生は大学の主役です。常に「大学の主役は学生」を念じつつ、「おっしょい、おっしょい、おいさ」で頑張ってまいりました。

4年間、大変お世話になりました！

(九州大学大学院総合理工学研究院教授)
中島 英治



菊池 悌一郎先生よりメッセージ

最後の挨拶

平成27年度より北九州サテライトにて客員教員として、放送大学に携わらせていただきました。学習相談やセミナーなど、どれも貴重な経験となりました。放送大学の学生さん方の勉強に対する熱情、そしてカタにはまらない自由さには、驚かされ、そして見習わなくてはと思います。を新たにすることがしばしばありました。さて、この「最後の挨拶」というやや大袈裟なタイトルは、名探偵ホームズの短編集から拝借しました。「最後の挨拶」なので、これでホームズ物も完結かと思われそうですが、実はこの後もシリーズは続きました。作者のドイルは、探偵小説家と言われるのをとせず、何度もホームズ物を完結させようとしたことが、その人気に抗せず復活を余儀なくされたという事情があるようです。私も最後の挨拶をさせていただきますが、面接授業など今後も放送大学とのご縁は続けさせていただきます。ひとまず、5年間ありがとうございました。

(九州工業大学学生総合支援室准教授)
菊池 悌一郎



2019年度第2学期 ご卒業おめでとうございます

教養学部 94名

生活と福祉コース	24名
心理と教育コース	40名
社会と産業コース	7名
人間と文化コース	16名
自然と環境コース	3名
情報コース	4名

大学院 9名

生活健康科学プログラム	4名
人間発達科学プログラム	1名
人文学プログラム	2名
情報学プログラム	1名
自然環境科学プログラム	1名

名誉学生からのメッセージ

～ 2019年度第2学期6コース卒業～

全科履修生 自然と環境コース 玉眞 紀子 さん

「これからの人生で、今が一番若い」

私の誕生日に、友だちが贈ってくれた言葉です。

今、このとき、1秒後も、1日後も、1年後も、「今」。

何かを思い立ったとき、それが「今」。

ちょうどその頃、1995年7月に40歳になった途端、脳の衰えを感じ、何かしたい、何がある?と考えた結果、試験があれば学習するのではないかと思い立ちました。複数の通信制大学を比較して、放送大学なら、地元にも学べると分かり、後期入学しましたが、まだ当時は地方では全科入学は出来ませんでした。全国化とともに全科生として編入学して、4年に一度のペースで卒業を目指して、今日に至ります。

楽しい面接授業、そして大好きな試験、50分間に脳をフル回転させるのが楽しくたまりません。残念だったのは、最初に専攻した心理学で、編入学したために面接授業の優先順位が最下位となり、実験実習が0.5単位不足して認定心理士の申請が出来なかったことです。後に、面接授業が増えて単位も取得出来ましたが、既に遅く職変に間に合いませんでした。あの頃に比べると、面接授業が充実していていいですね。今後も刺激を求めて受けたいと思います。「今」また、明日に向かって。

全科履修生 自然と環境コース 坂口 啓明 さん

「面接授業で気になっていること」

私は20年位教養学部と3年間修士選科生として学習させていただいています。

機会をいただいたので、面接授業について、気になっていることを書かせていただきます。

質問や発表は、担当の先生の進行のジャマにならない程度に積極的にやったほうが良いです。レポートにも見えることですが、学生の理解度を知り、次回以降に活かされるとともに、先生ご自身の研究に役立つこともままあります。私たち放送大学生は、いろいろな領域での経験が豊かで、それぞれにとっての専門家みたいなものです。その経験をより専門的にしていく支援のひとつが、面接授業です。

時間を忘れて熱心に話されている先生方には、「すみませんが、休憩を少しいただけませんか?」とひとこと遠慮せずに、お願いしてもいいと思います。エアコンの暑さ、寒さについても我慢することはおすすめしません。せっかくの学習の機会を、より豊かなものにするためにも環境を整備することは大切です。

面接授業をしっかり参加していれば、単位認定試験に反映されますよ。

全科履修生 人間と文化コース 永田 進 さん

「楽しく学んだ19年間」

放送大学で学び始めて、19年になります。当時私は、社会人として色々なことに関心を持って、自然のうちに学んでいるということを感じていましたが、50歳を迎えるにあたって、好きなことを体系的に学んでみたいと思うようになりました。近くの郵便局で、放送大学のパンフレットを見つけ、早速科目履修生として入学しました。そのうち履修済科目数が増えましたので、これを土台として会社での仕事の知識として役に立ちそうな「産業と技術」を選択し、全科履修生となりました。再入学制度にて次は、自分の興味分野である「自然の理解」で学びました。次に興味がある分野をというように継続し、ついには、全科を学ぶことが出来ました。放送大学で学んだ成果として、体系的に学ぶことにより視野を確かめることができました。また、「学び続ける」という自己実現ができ本当によかったと思います。学びたい人に広く開放されている放送大学に感謝いたします。



卒業生からのメッセージ

教養学部 心理と教育コース 30代女性

自分のペースでじっくりと、深く勉強することができ、とても充実した日々でした。様々な年代、学びに対する思いを持った人々の中で学ぶという経験も、とても貴重なものであり、自分自身の学びに対する思いや考えと向き合うことができました。これからも勉強を続けたいです。ありがとうございました。

教養学部 生活と福祉コース 50代女性

このたび、通算8年をかけて卒業のはこびとなりました。入学した時は、まだ博多織会館に学習センターがあり、単位認定試験の時は階段にも勉強する人がみられました。途中休学もし、このままやめてしまおうかとも思いましたが、昨年再入学し、卒業をめざしました。単位認定試験に至るまでに、あれもこれももっと深く学習すればよかった、という後悔もありますが、本当に「自分が学びたいことを学ぶ」機会を得ることは、何よりの喜びです。ありがとうございました。

教養学部 社会と産業コース 70代女性

2年前に生活と福祉コースを卒業。今年社会と産業コースを卒業(予定)。2020年度、心理と教育コースに入学(予定)。75歳で3コース踏破が夢です。

定年退職後の人生が、人・物・環境全てに大きく変化し、色とりどりに生かされています。全てに自分にも感謝です。

大学院 自然と環境科学プログラム 50代男性

単なる趣味から修士取得へ繋がり大変楽しいプログラムだった。

次年度は九産とのコラボの博物館実習を受講する。楽しみにしている。今後も学びの選択肢が広がる様、プログラムの充実を願う。

大学院 人文学プログラム 60代女性

2011年から大学院の修士選科生として単位を少しずつ取り、また大学の学部生にもなり卒業研究論文を書きました。修士課程では恩師に出会えたこと、そして研究に没頭することで意義ある研究成果を得ることができました。長い時間がかかりましたが、修了することができたのは、多様な学び方ができる放送大学があったからです。

教養学部 心理と教育コース 40代女性

当初の目的は、好きな科目、気になる科目だけを履修することでした。しかし、転勤による引越しのため、外へ出るきっかけ作りの為へと目的が変わり、気づけば残りわずかなスクーリングを受講すれば学位取得も身近になって、それが目標になりました。目的が変わっても学び続けられることは魅力でした。

教養学部 人間と文化コース 60代男性

定年退職後、自由になった時間を活用しようと放送大学に入学した。印刷教材を読み込み、放送授業は録画し、毎日午前中の3時間を学習にあてた。

妻や娘の応援があったおかげで卒業の日を迎えることが出来、感謝している。ただ、卒業式の集合写真がとれないのが残念でならない。

教養学部 心理と教育コース 60代女性

通信で看護師免許を取得しました。多忙な業務に不安があり放送大学に入学させていただきました。大学に入り「こんなに奥が深かったのだ」と驚くとともに知らない事の多さに追われるように学習を進めていました。途中息子が体調を崩し今私に必要なのは、心理学であると確信し、コース変更もしました。病气、仕事、学習とすべてあきらめようと考えていた時スクーリングで知り合った方から、励まされありがたく思っています。

教養学部 情報コース 70代男性

家庭の都合で大学へ進学できず工業高校へ進学せざるを得ないことになり、退職後にその夢を果たすことができました。

又、退職後に就いた仕事の質を上げるためにとこの二つの理由で、放送大学を知り今日を迎えました。放送大学には、高齢の方も多く、それが励みになりました。

大学院 人間発達科学プログラム 50代男性

学ぶことがとにかく楽しみでした。特に精神医学や社会心理学、道徳教育の講義は何度も聞きました。

修士論文をまとめるまで、とても充実していました。指導者の堺教授とは何度もメールで論文をまとめたところまで添付して送信し、それをもとに指導のコメントをいただくという繰り返しの中で学術論文のまとめ方が理解できました。できれば次は博士全科生として、この学びを続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

心理と教育コース 福岡学習センター
永谷 直子

この度は、私たち卒業生のために特別な場を設けていただきありがとうございます。ご尽力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

式典という節目の機会をなくした私たちは、学びに終わりはないという気づきを得ました。あらがえない出来事を前に、人はそこに何を見出すのでしょうか。これからやってくる状況に気持ちを強く持たねばなりません。学問はそのようなときにこそ役割を担います。

私は選科履修生として16単位を修得した後、全科履修生として入学しました。大学への入学資格を持っていなかったためです。10代の頃、教育を受ける機会を繋げていくことが叶いませんでした。同世代の友人が進学・就職し社会へと巣立っていく中、自分だけ変わらず同じ場所にいるように感じていました。私はどこへ向かうのか。漂い続けるのか。わからない。自分自身も世界も。わからないことを知るために、学問の場に飛び込みました。

放送大学には、高校卒業程度認定試験を経ることなく入学できるルートがあります。この制度が、私の学びたい思いの熱量を冷めぬまま受容してくれる器となったのです。10年かけて卒業に必要な単位を修得しました。学習塾に通ったことも小論文指導の経験もない私が、単位修得を重ねて卒業研究報告書を書き上げることができたのは、初学から発展的学習へと導くカリキュラムがあったからこそです。指導教員大山泰宏先生の「人格心理学(’15)」は、導入科目であると同時に大学院での学びが見据えられています。いま目の前にあるものはこの先へと繋がっていく。世界は薄絹のように繊細な広がりか幾重にも重なりあって織りなされる。ほんやりと輪郭を描くのみであった感覚が、確信に変わる出会いでした。

大山先生のご指導のもと「かつてあったものをなくしたとき、人はどのようにここを先へと送るのか」という研究テーマに取り組み、自分がここまで生きた意味と現在立つ地点を知ることができました。困難な状況にあるときにも知への扉は閉ざされることはない。放送大学は、まだ何者でもない私が私自身を探究する場所である。そのような一側面を持つと信じています。私は卒業という私自身の学びの成果を得ることで、放送大学が開かれた大学であることを示します。

私がここに記した経験は、この大学が持つ学びの多様性の一端です。卒業生一人ひとりにそれぞれの物語があります。わからないから知りたい。知ろうとすることをやめない。私たちの思いに寄り添い、共に学んでくださる先生方に敬意と感謝を込めて。そして、身近な場所から学生をご支援くださる地域の学習センターの存在を心強く感じながら。探究を続けます。



事務局からのお知らせ

通信指導の提出について

通信指導とは、一定の範囲で出題される問題を解き、その答案を大学本部へ提出して添削指導を受けることです。この添削結果により単位認定試験の受験資格が得られます。通信指導が不合格または未提出の方は単位認定試験を受験できません。

〈提出方法〉 郵送またはインターネット（*インターネット提出は一部の科目を除く）
 〈提出期限〉 （郵 送） 2020年5月15日（金）～5月29日（金）大学本部必着
 （Web） 2020年5月 8日（金）10:00～5月29日（金）17:00

*詳しくは参照「学生生活の栞」（教養学部 P66～70、大学院 P63～67）をご覧ください。
 【大学本部連絡先】 ☎043-276-5111（総合受付）

学割証について

全科履修生及び修士全科生・博士全科生に限り、学割証を発行しています。自宅「最寄り駅」から福岡学習センターまたは北九州サテライトスペースに通学する場合等に申し込むことができます。

詳細は、福岡学習センター発行の「利用の手引」（P30）および「学生生活の栞」（学部 P128～130、大学院 P115～116）をご覧ください。

お知らせメールについて

福岡学習センターからの学習情報や行事のご案内等、各種の情報は随時、学生メール(G-mail)に配信しています。学生メール(Gmail)は、Webブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員に割り振られます。緊急的事象等の連絡を行う場合もあります。定期的に学生メールを確認してください。

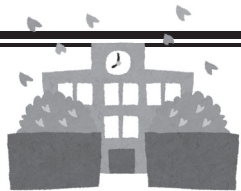
＜学生メール(Gmail)利用方法＞

放送大学HPトップ／在学生の方へのシステムWAKABAを選択→＜ログインID＞と＜パスワード＞を入力→左側メニューのGmailのボタンをクリック

同窓会・サークル紹介

福岡学習センター及び北九州サテライトスペースでは、下記の同窓会・サークル等が活動し学生相互の親睦を深めています。

同窓会・サークル名	活動内容	活動日時	代表者名・連絡先
福岡同窓会	生涯学習の理想と実現を目指し、会員相互の親睦並びに母校および会員の隆盛発展を目的に設立されました。卒業生だけでなく学生の方も入会できます。	講演会・卒業式時の懇親会等。 会報「筑紫」年2回発行。	＜会 長＞安武 和人 ＜連絡先＞ 学習センターのメールボックス Email: fukudoso@gmail.com ブログ: http://dosokai.blog.shinobi.jp
情報交換クラブ ・ing	情報交換を図り、会員相互の親睦・融和と相互理解を図るために毎月のつどい、年2回のハイキングや忘年会を開催。新規ご入会歓迎します。	毎月第2土曜日 10時30分～12時30分 (変更の場合あり)	＜代表者＞待鳥 信昭 ＜連絡先＞ ・HP: http://ingfukuoka.blog.fc2.com/ ・学習センター私書箱へ
那ノ津読書会	名著を読むことを通して、自己啓発と学生間の交流をはかることを目的としており、現在「枕草子」と「おくのほそ道」「所長ののちごと」を読んでいます。	毎月第2木曜日 10時～12時30分	＜代表者＞眞崎 澄江 ＜連絡先＞福岡学習センター 私書箱「那ノ津読書会」



4月～6月のスケジュール



4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4月の行事・お知らせ

16日 教員免許更新講習生受付開始（～5/21）

5月の行事・お知らせ

1日 司書教諭夏季集中科目履修生受付・
在学生科目登録開始（～6/7）

15日 通信指導提出開始（Web提出は、5/8 10:00～）

29日 通信指導提出期限

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月の行事・お知らせ

10日 2020年度第2学期入学生出願受付開始（第1回）
（教養学部、大学院修士選科生・修士科目生）
（～8/31）

27日※ 心理学資格説明会
大学院修士全科目入学希望者ガイダンス
卒業研究履修ガイダンス

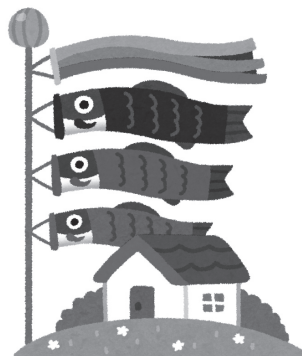
28日※ コラボ公開講演会（北九州市）

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、変更となる場合がありますので、福岡学習センターのホームページをご確認ください。

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■ 閉所日 ● = 面接授業（福岡）◆ = 面接授業（北九州）



編集 後記

新学期が始まりました。ご入学された皆さま、おめでとうございます。
4月より、所長をはじめ、客員教員5名、事務職員3名（福岡2名、北九州1名）の交替がありました。新たな気持ちで学生の皆さまのサポートができるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。